

あなたと市議会



「夏の終わり」

十文字中学校美術部3年 ^{つちや}土谷 ^{いろは}彩葉さん



「新しい未来」

十文字中学校美術部3年 ^{あそう}麻生 ^{ひな}陽菜さん

主な内容

- 定例会ピックアップ…………… 2
 - ・大森浄化センター整備事業に関する調査特別委員会設置
 - ・議員定数削減へ
- 委員会審査報告…………… 5 令和4年度決算審査… 6
- 委員会質問・一般質問……… 10 ぎかいトピックス………16

作品のこだわりポイント！

今年は猛暑で、受験生には辛い夏でした。でも過ぎてしまえば、なぜか寂しい気がします。そして、今私たちは自分の未来に向かって、気持ちを新たにしています。そんな思いを、2人で連作にしました。2人の気持ちが届けばうれしいです。

大森浄化センター整備事業に関する 調査特別委員会設置

さらに詳細な調査で真相究明へ

工事の経緯や経費、検査など、適正な事務執行をしていたかなどをチェックするぞ！



調査特別委員会はなぜ設置されることになったのか

定例会中に行われた令和4年度下水道事業会計の決算審査にあたっては、予算決算委員会産業建設分科会および予算決算委員会において起立者がなく、下水道事業会計の決算が認定すべきでないものとなり、これを受けて本会議でも起立者なしにより不認定となりました。

これは、予算決算委員会分科会審査で、委員からの指摘により大森浄化センター整備事業の工事施工不良が発覚したことに端を発します。

大森浄化センター整備事業のこれまでの経緯は

大森浄化センター整備事業は、令和2年度大森地区農業集落排水（機能強化）事業として令和3年3月に着工し、令和4年3月に水槽の土木工事が完成しました。しかし、その後、建築工事中に水槽部分のコンクリートにクラック（ひび割れ）などが確認され、その補修工事が行われました。

法および経費、契約検査基準など疑念が山積している状況を重く見た議会は、さらに詳細な調査をする必要があるとし、議員全員の賛同により定例会最終日に横手市議会委員会条例第6条に定める特別委員会の設置が提案され、大森浄化センター整備事業に関する調査特別委員会が設置されました。

調査特別委員会による調査活動がスタート

調査特別委員会の発足を受け、9月27日には委員による調査活動が行われました。

この日行われた調査では、大森浄化センターの施工不良箇所とその修復状況などを確認し、その後、委員



調査特別委員会が行った現地調査

また、機械設備や電気設備に関する物価高騰の影響により予算が不足し、発注が遅れたことで工期が遅れました。

このことなどについて、これまで当局から議会に対し、報告などが一切行われていなかったことも問題視しています。

その後の当局の説明や総括質疑における市長の答弁内容に議会として到底納得できなかったことも、決算が不認定となった要因となりました。（詳しくはP7、P9をご参照ください）



施工不良が発覚した大森浄化センター

事業に対する疑念が山積 特別委員会を設置して調査へ

この事業について、一連の工事の経過、施工不良箇所に関する補修方

間でこれまでの経緯の確認や意見交換、今後の調査の進め方などについて協議しました。

調査特別委員会では、この事業について適正な事務執行がされたのか、また市民の不利益につながっていないかなどについて継続して調査を行い、真相を究明していきます。

大森浄化センター整備事業に関する調査特別委員会

委員長	菅原 正志
副委員長	佐藤 誠洋
委員	鈴木 勝雄・木村 清貴
	塩田 勉・井上 忠征
	小野 正伸・福田 誠
	加藤 勝義・高橋 和樹

調査、検討事項

- ・ 工事の経緯、経過
- ・ 瑕疵部分にかかる補修工事、経費
- ・ 市の契約検査基準
- ・ 市長の工事発注に対する姿勢など

調査期間

・ 令和6年3月定例会まで

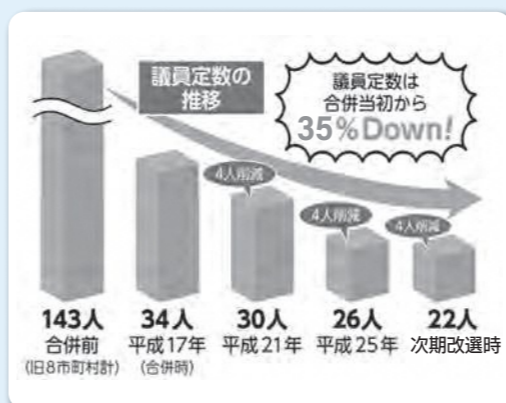
進む議会改革 次期改選時より 議員定数を4人削減

議会改革推進会議（委員長 立身万千子）は、令和3年11月から12回にわたって検討を重ね、その内容について9月定例会最終日に報告を行いました。

この報告を受けて議員定数を削減する条例案が上程され、賛成多数により可決しました。

議員定数削減の条例案可決

議員定数の協議にあたっては、立候補者数が減り続けている「議員のなり手不足」の問題があります。こういったことから、県内でも議員定数を削減するところもあり、また、全国的に見ても本市と人口規模が同程度の自治体の平均議員定数は、当市議会の定数よりも少なくなっています。これらの状況を踏まえ、次期改選時より議員定数（26人）を4人削減することとしました。



議員報酬の見直しを引き続き要請

議員のなり手不足解消には議員活動に専念できる環境整備が必要であるため、議員報酬の見直しを引き続き当局に要望しました。

通年議会導入の方針を決定

通年議会とは、会期を通年（1年間）とする議会です。これまでは、定例会を中心とした議会活動しかできませんでした。会期を通年とすることで、常に議会として機動的かつ多種多様な活動ができるようになり、議会運営の効率化や、議員の活動が見えやすくなるなどのメリットがあります。

今後、通年議会導入に向け議会内および当局との積極的かつ綿密な協議を行っていきます。

厚生常任委員会

厚生常任委員

- 土田百合子 柴田 忍 宮川 拓也 林 一輝 立身万千子 青山 豊 佐藤 忠久



アプリ導入で接種スケジュール管理や予診票への記入も簡単、便利に

問 運営費はどのように捻出するのか。
答 運営費は、毎年度継続してかかっていますが、子育て支援として必要な負担であると考へ、市として捻出する。

問 小児予防接種電子化のアプリは、どのように選定したのか。
答 この機能があるアプリは、今回選定した1社のみが提供している。
問 アプリを使いたくても、病院によっては使えないところがあるのではないかと不安の声があるがどうか。

小児予防接種電子化は市民が安心して使えるものなの？

産業建設常任委員会

産業建設常任委員

- 菅原 正志 佐藤 誠洋 齋藤 光司 加藤 勝義 鈴木 勝雄 小野 正伸 播磨 博一 木村 清貴



台湾旅行展で横手をPR

問 観光誘客推進事業について、経済効果や事業効果をしっかりと設定する必要があると思う。次年度以降も事業を継続して実施するということであれば、PDCAサイクルを回していくためにもなおさら目標の設定が重要になると思っていますか。
答 海外からのインバウンド客の取り込みに最終的な目標を置いている。観光庁の補助事業として採択となったばかりの事業なので、これから詳細を詰めていく予定としている。事業の目標についても、今後しっかりと設定するようになりたい。

効果的な観光誘客となるようしっかりとした目標設定を

総務文教常任委員会

総務文教常任委員

- 高橋 和樹 菅原 恵悦 大日向香輝 福田 誠 塩田 勉 加藤 雄太 本間 利博 井上 忠征 高橋 聖悟



利便性の向上に期待 木戸五郎兵衛村

問 雄物川民家苑木戸五郎兵衛村設置条例の一部改正
答 民家苑は市の指定有形文化財となっているため、所管課に確認した上で、建物の大規模な修繕に関しては市で行うこととしている。
問 雄物川の補修や修繕については、どのような条件で指定管理を行うのか。
答 民家苑は市の指定有形文化財となっているため、所管課に確認した上で、建物の大規模な修繕に関しては市で行うこととしている。
問 本市に拠点がおかれる一般社団法人マンガアーカイブ機構について
答 京都市、石巻市、北九州市など、マンガによるまちづくりなどに取り組んでいる自治体が会員となる予定である。

民家苑木戸五郎兵衛村を民間事業者でも管理できるように

賛否が分かれた議案と審議結果

Table with columns for case name, decision result, and voting members. Includes items like '横手市議会議員定数条例の一部を改正する条例' and 'ゆとりおん大雄の継続運営を求める陳情書'.

・この他の議案は全員賛成により可決されました。
○：賛成 ●：反対
※1 寿松木孝議長は採決に加わりません。 ※2 青山豊議員は監査委員です。

陳情の審査結果

採択

- ◆ゆとりおん大雄の継続運営を求める陳情書 (鈴木 春雄氏 他3,204名)
◆「大曲簡易裁判所につき裁判官の再配置を求める意見書」の採択等の陳情書 (秋田弁護士会会長 嵯峨 宏氏)

不採択

- ◆全国靈感商法対策弁護士連絡会の不当な声明に対する陳情 (信仰の自由・基本的人権を守る秋田県民の会代表 笠原 尚子氏)

議案PICKUP!

県内他市に先駆けて可決

議員提案の「農畜産物の適正な価格形成の実現を求める意見書」

コロナ禍や大雪災害に加え、飼料や肥料などの資材価格や燃料費の高騰、最低賃金改定に伴う人件費高騰も見込まれ、生産・流通コストが上昇する一方、価格転嫁は進んでおらず、地域の農業経営は悪化の一途をたどっています。

地域の基幹産業である農業の持続的発展が図られ、そして将来にわたる食料の安定確保と農業生産基盤が維持されるよう、県内他市に先駆けて議員提案による意見書を可決し、農林水産大臣をはじめとする関係行政庁に提出しました。

7月臨時会の概要

障害者支援施設や介護保険施設に、物価高騰に伴う光熱費の負担を軽減する補助金を交付するための経費などを盛り込んだ一般会計補正予算について審議し、可決しました。

審議された議案の概要や陳情の要旨は、横手市議会ホームページでご確認いただけます。



案件名で議案などの内容が分からないときは確認してみよう!



農商工業・観光・土木・建築・上下水道

健康・福祉・環境

農林業の課題解決への達成度は

農林業の課題をどう捉えているか。また、その課題に対しどう対処し、今後どのように取り組んでいくのか。

答弁 物価高騰、高齢化、人材不足、中山間地での営農継続、水田活用交付金の交付対象水田見直しへの対応など課題は多い。果樹は回復傾向にあるが、雪害からの復興、営農継続を主に対策を講じた。林業は森林環境譲与税を活用して取り組むことが重要と考える。



雪害から回復傾向にあるが復興はまだ道半ば

Bizサポートよこてを設置した効果は

Bizサポートよこては、Y²ぷらざを改修までして移転したものであるが、目的に対してどのような効果があったのか。

答弁 パーソナルオフィスでは6部屋のうち5部屋が利用されている。駅前に移転したことにより新たな市民利用が増え、起業を考えている方が気軽に相談できる場所として活用いただいている。県外企業の誘致も目的としており、現在2社が入居している。

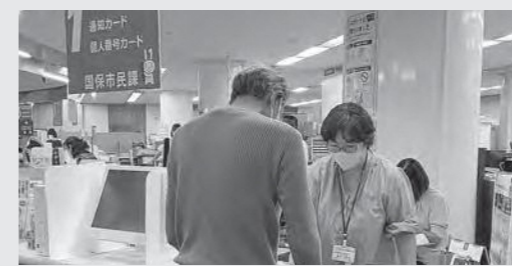


起業について気軽に相談できるBizサポートよこて

マイナンバーカードの保有率は

令和4年度はマイナポイントが付与されたため、申請窓口には行列ができていた。市での保有率の推移はどのようになっているか。

答弁 交付実績は前年度と比較して2万2826枚増えた。マイナポイント付与対象期間のカード申請が多く、特に10月から3月の申請が多かった。令和5年8月末の累計交付枚数は、6万5118枚で保有枚数率73.8%となっている。



すでに市民の7割以上の方がマイナンバーカードを持っている

ファミリー・サポート・センター利用者の現状は

コロナ禍の影響もあると思うが、サービスの利用者が増えていない。今後の進め方についてどのように考えているか。

答弁 現在、援助を必要とするファミリー会員は多いが、援助する側のサポート会員が少ない状況が続いている。そのため、サポート会員を増やしていくための方策として、養成研修や講習会等の充実を検討している状態である。



講習会の充実などによるサポート会員の確保が急務



審査の途中で異例の現場視察

令和4年度下水道事業会計の決算審査中、「集落排水機能強化事業で進められた大森浄化センターの水槽工事において、瑕疵があったとの情報があるがどうか」との質疑があり、当局からの説明の中で、工事に関する施工不良や費用の増額が発覚しました。

これを受け、審査は紛糾。審査を中断して、急ぎよ工事現場を視察し、施工不良箇所の状況を調査する異例の事態となりました。施工不良箇所の状況調査を終えた。



施設内には無数のクラック（ひび割れ）を修復した痕跡が見られた

**委員の指摘で工事の施工不良が発覚！
下水道事業会計は「認定すべきでないもの」**

その後、審査を再開し、検査体制や費用が増額となった理由、契約の内容など、多岐にわたる質疑を行いました。

討論

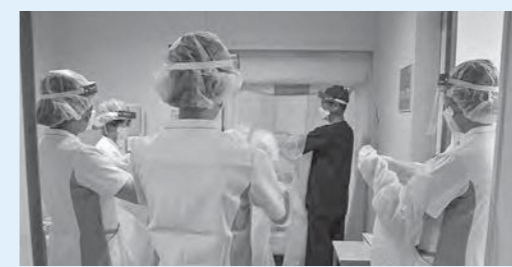
反対 「大森地区の集落排水機能強化事業に関して、令和2年度から工事が始まっているが、その後瑕疵に関する説明もなく、予算の増額についても具体的な説明がなかった」

否 採決の結果、起立なし（退席者を除く）により認定すべきでないものと決定しました。

市立病院のマンパワーに不足はないか

公立病院には、患者のために身近に相談、治療してくれることが望まれている。そのためマンパワーが重要だと思うがどうか。

答弁 まさに働き手がいることが重要だ。看護師は少しずつ確保しているが、その他の専門職はこの病院でも採用に苦労している。市立病院で働きたいと思っている人を確保すること、働き甲斐のある場所であり続けることが重要であり、これからも努力していく。



地域医療を守るために医療スタッフの確保が重要

住み慣れた地域で安心して暮らすための取り組みを

生活支援体制整備事業の実施状況はどのようになっているか。また、物価上昇を踏まえ、委託料値上げについて検討はしているか。

答弁 社会福祉協議会に事業を委託し、高齢者が地域で継続して暮らすためにどういった支援が必要かを話し合ってもらっており、課題に対し支援につなげるコーディネートの役割となっている。委託金額は国の基準の上限額となっており、これ以上の値上げはできない。



高齢者が地域で安心して暮らせるよう社会福祉協議会が架け橋となっている

下水道事業会計は分科会に引き続き 予算決算委員会でも起立なし

予算決算委員会の概要

9月定例会では予算決算委員会を開催し、令和4年度の一般会計をはじめ特別会計、企業会計の決算認定議案12件を審査しました。その結果、下水道事業会計を除く11件の決算を認定すべきものと決定しました。

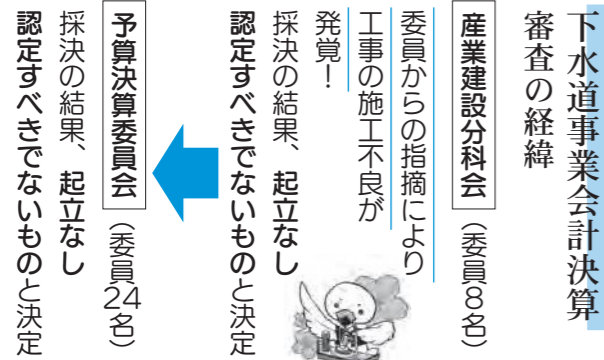
◆下水道事業会計は「認定すべきでないもの」と決定

予算決算委員会では、冒頭に各分科会長から決算審査内容について報告が行われ、産業建設分科会（菅原正志分科会長）からは、下水道事業会計決算における大森浄化センターに関する内容（詳しくはP7を参照ください）も報告されました。

また、総括質疑では、大森浄化センター工事についての質疑も行われました。



予算決算委員会の概要



その後、これらを踏まえ、議長を除く全議員で構成する予算決算委員会での採決が行われました。

下水道事業会計決算の認定については、産業建設分科会での採決に引き続き、起立なし（委員長、議会議長、退席者を除く）となり、この決算は認定すべきでないものと決定しました。

総括質疑

先進地を参考とした積極的な資金運用を

佐藤 誠洋委員



問 会派で視察をした大分県国東市は当市の約3割ほどの人口で、基金運用収入はほぼ毎年1億円以上。一方、当市では国東市よりも約80億円も基金残高が多いにも関わらず、令和4年度の基金利子は420万円しかない。今後も地方交付税の減額による歳入不足が見込まれる中、資金運用の考えを伺う。

答 資金管理運用方針に基づき資金管理を行っている。安全性の確保を最優先に適正な管理に努める。

問 先進団体では、資金管理の専門知識のある第三者を資金運用の戦略会議メンバーとする例もある。当市ではその考えはあるか。

答 公金管理を適切に行うため、資金管理会議を設置して運用している。

大森浄化センター工事は適正に行われたか

菅原 正志委員



問 工事における契約検査課の検査は、適正に進められていたか。

答 令和4年3月8日に書類審査、工事現場での出来ばえ、出来形の検測など、完成時の施工状況および評価の確認を行った。

問 施工不良箇所が見つかった際、なぜ議会に報告しなかったのか。

答 完成後、洗浄による水槽内壁面の落下や、多くのクラックが見られることなど、今回の事

案は施工業者の瑕疵と判断し、補修を実施させた。契約に規定した進め方であり、補強後の強度も目的を問題なく達成できる状態である。こうしたことから、過去の事例に照らし合わせても、議会に報告すべき事案ではないと考えた。

総務・財政・教育・生涯学習・消防

不登校の児童生徒への支援体制は

出現率が上昇していることを踏まえ、どのような支援体制を整備しているか。

答 要因や背景にはさまざまなことが複雑に絡み合っている場合が多く、学校と教育関係者が一層充実した支援や家庭への働きかけを行うよう努めている。教育相談の充実や不登校適応指導教室の設置など、時には児童相談所や警察などと連携を取り、児童生徒が社会的に自立する方向を目指して進めている。



不登校適応指導教室では不登校の児童・生徒を支援

ふるさと納税の実績に対する分析は

当市への納税額3億8568万3千円は、県内の他自治体と比較すると少ない。他自治体のPRの取り組みなどを分析しているのか。

答 庁内にプロジェクトチームを作り部局横断で取り組んでいる。これまでになかった分野の新たな返礼品を増やし、品数は県内一となっている。米や果樹については、量が多いものが選ばれる傾向があり苦戦しているが、これまで以上にPRに力を入れたい。



ふるさと納税額の増加で市内事業者の所得アップに

消防施設整備事業の財政計画との兼ね合いは

令和4年度の防火水槽の充足率が54%と低い。財政計画に盛り込み、中長期的に計画を立てて建設を進めるべきではないか。

答 防火水槽は、地震防災緊急事業五箇年計画で令和3年度から7年度までに毎年3基ずつ建設することとしており、向こう5年間の財政計画にも反映している。土地の確保や1基あたり1300万円の工事費を鑑みて、年に3基の建設計画となっている。



防火水槽は年次計画を立てて増やしていく予定

スマホ決済ポイント還元事業の結果分析は

国の交付金を活用し、キャッシュレス文化推進のために実施したものだが、執行率が半分ほどだ。この要因をどう分析したか。

答 よこて市民応援商品券事業に続いての実施だったことも要因。結果として決算額が6千万円と、令和2年度実施時より3倍に増えた。アンケートでは市民の6割、20～50代では約8割の利用が見られ、キャッシュレス決済は普及してきていると考える。



キャッシュレス決済は普及しつつあるが事業費の執行率は半分ほどに留まった

問 本再開発事業建築工事において施工不良箇所が発覚した件について、現在（9月5日）に至るまでの当市としての対応状況は。

答 7月7日に再開発組合理事長と建設工事共同企業体（建設JV）代表者より、事務所やホテルなどが入る予定のB-1棟に工事施工ミスがあったと報告があり、同日に市を加えた3者で緊急記者会見を行った。翌日、国・県に経過を報告し、その後も協議を実施している。施工不良箇所などの状況確認は、建築職員が現地で行っている。

問 今回の施工ミスが発覚する以前に市が調査を行った経緯は。

答 発覚以前より本件についてのうわさ話がさまざま聞こえてきたため、市として看過できないと判断し、建設JVならびに一般業務代行者に報告を求めるに至った。



B-1棟に続きは正工事が必要な箇所があると発覚したA棟

横手駅東口再開発事業への対応状況は

加藤 雄太議員

かとう ゆうた



問 Vの自主検査ならびに工事監理者による全数検査が終了し、工事再開を決定したとのことだが、第三者機関による調査・検証の状況は。

答 8月18日に第三者機関へ施工監査業務を発注し、業務には2カ月程度の時間を要すると聞いている。調査結果については市に対しても資料提供してもらおう。

問 国・県から交付予定の補助金に影響はないのか。

答 施工不良への対応が補助金などにどのように影響するかについては、明確な回答はもらえていない。

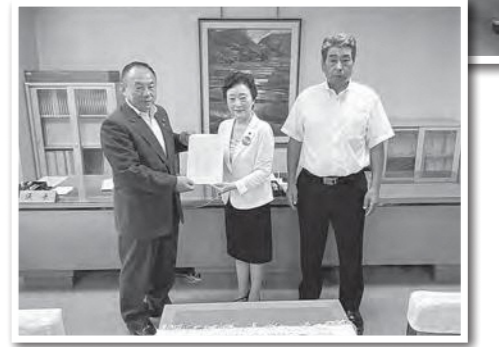
学校給食費無償化を強く求める！

厚生常任委員会質問

厚生常任委員会では、当市の最大の課題である人口減少を食い止めるには出生数の増加が必須との観点から、子育て支援策として

- ①育児負担軽減
- ②経済的支援
- ③子育て拠点の整備

が必要との調査結果をまとめました。厚生常任委員会の総意として、この報告内容をもとに市政について質す、委員会質問を行いました。



子育て支援策について、約1年半にわたり担当部署との意見交換や委員間討議、行政視察を行い、それをもとに協議を重ね、8月7日に所管事務調査報告書を議長に提出しました。

土田 百合子議員

つちだ ゆりこ



学校給食費無償化で子育て支援を

問 公立小中学校で給食費を無償化する動きが全国で加速している中、県内では男鹿市が7月から学校給食費無償化をスタートした。保護者負担を減らすため、学校給食費の半額補助、第3子からの無償化、中学3年生のみ無償化など、一部を無償化している自治体がある。また、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の拡充で創出された「コロナ禍における原油価格・物価高騰対応」を活用し、無償化を実施しているところもある。

食品の価格高騰により給食費の負担が増加する中で、学校給食費無償化は子育て世帯への経済支援につながると思うがどうか。

答 学校給食費無償化は、全国的にも増加傾向にある。当市では学校給食費は食材購入経費のみを保護者より負担いただいております、現



学校給食費無償化で子育て支援のさらなる充実を

在当市における学校給食費の保護者負担額は合計約3億円となっている。これを無償化するには、多額の財源を恒久的に確保しなければならぬことが課題だが、多子世帯への支援など、一部の無償化について検討の余地があると考えている。

問 学校給食費無償化の財源としてふるさと納税を活用しては。

答 ふるさと納税寄附金は、恒久財源とはなり得ないため、学校給食費無償化の財源としては不安定なものだと認識している。

公共温泉施設への今後の関わり方は

菅原 正志議員

すがわら ただし



問 公共温泉施設に対し、市はいつまで関わっていくのか。

答 源泉の枯渇などの致命的な故障や、温泉経営環境の激変などにより、市負担額の著しい増大が見込まれる場合、改めて施設存続の妥当性について協議したい。公共温泉に市が関与する役目は終わっているというのが元々の思いだ。

問 地区交流センターの運営体制は

答 運営協議会は地区交流センター事業の心臓部だ。持続可能な組織とするため、幅広い年齢層で構成すべきと思うがどうか。

問 町内会、自治会などの代表に限らず、地域内の幅広い年齢層の方の参画が望ましいと考えている。

問 話し合いの内容を後々確認できるように議事録は取っているか。

答 運営協議会で内容は記録しているが議事録提出は求めている。●園芸振興拠点センターの活動は



老朽化により、再開するためには多額の改修費が見込まれる鶴ヶ池荘

問 地場産品を生かした商品開発など6次産業化は進んでいるか。

答 地元産産物を活用するためのセミナーを継続して開催しており、多様な発想による横手発のヒット商品誕生を期待している。

問 農業副産物の有効活用は

答 もみ殻やリンゴの製枝などペレット化し、土壌改良剤や融雪剤として活用してはどうか。

問 JAでは園芸作物栽培での実証試験を行っている。試験結果を注視して、市としてできることを含めて共に協議・検討していく。

播磨 博一 議員

はりま ひろかず



最低賃金改定による農業経営への影響は



問 この度の改定により秋田県の最低賃金は時給897円となる。大幅な上昇と考えるが農業経営に対する影響をどのように考えるか。

答 稲作では一定の機械化・省力化が図られているし、労働力も法人雇用や家族労働者などが大半を占めることから影響は少ないと考える。一方、園芸作物や果樹については、それぞれの作業に多くの人手を要し、資材費等が高騰している現状においてさらなる生産コストの上昇につながるため、影響は少なくないものと考えます。

問 今後も人件費の上昇は続くと思うが、実効性のある新たな支援策が求められるのでは。

答 市独自に人件費に対して直接的な支援を行うことは考えていないが、賃金上昇に見合う農業所得が確保できるような支援策については今後検討する必要がある。



最低賃金の上昇は園芸作物などの農業経営にも大きく影響

問 適正な価格転嫁ができるようになるのは当然必要だが、これまでに以上の確な支援が求められる。与えられる制度より、農家に求められる支援制度の設計を望む。

答 これまでもJA各生産部会から農家への聞き取りを行っていたが、昨今の資材高騰や人件費増などのコスト上昇に合わせて、これまで以上に農家の要望を聞き取る体制を強めていく。

■その他の質問

・二次医療圏再編の課題と対応について

本間 利博 議員

ほんま としひろ



長期的視野での森林活用の戦略が必要だ



問 令和6年度から森林環境税が1人当たり年額千円徴収され、市に配分される森林環境譲与税の利用にも関心が高まると思われる。森林の将来の姿が見える長期的な森林活用の戦略になっているか。

答 森林環境譲与税の活用は、森林整備の推進を図るため森林所有者の意向調査や経営管理権集積計画のための森林経営管理事業を中心に考えている。森林を効率よく活用できる環境を整えながら将来の発展的な活用の仕方を示したい。

問 地元産木材の利用促進に向けた取り組みや、木育についての考えを伺う。

答 市が整備する公共建築物等には可能な限り地元産木材の利用に努める。今後は森林の持つ多面的機能や森林資源の循環について理解を深める取り組みや、若年層へのより一層の教育も必要と考える。



美しい横手の森林を守る
どうまんとろけ
道満峠(平鹿地域)からの眺望

●後三年合戦関連遺跡の調査は

問 金沢柵本体特定のための第3次5カ年計画が令和6年度で終了するが、その後の調査予定は。

答 今年度はこれまでの調査結果などをまとめた総括報告書の刊行を予定している。調査をお願いしている識者や文化庁とも協議の上、今後の史跡の調査および史跡指定に関する方向性を検討していく。

問 平泉町との交流について伺う。

答 平泉町と横手市の深い歴史になつながらりをもとに多様な連携交流を検討していく。

宮川 拓也 議員

みやかわ たくや



子育てにかかる経済的負担軽減について



問 経済的に苦しい世帯には、就学するにあたって就学援助制度があるが、どのような支援があるのか。

答 通常必要となる学用品の購入費用や学校給食費、修学旅行費、新入学児童生徒の学用品費など、国の基準額を上限に援助している。

問 現在の市内中学校の制服は全国的に見ても非常に高額である。経済的負担軽減の観点から安価な制服に見直しをしようか。

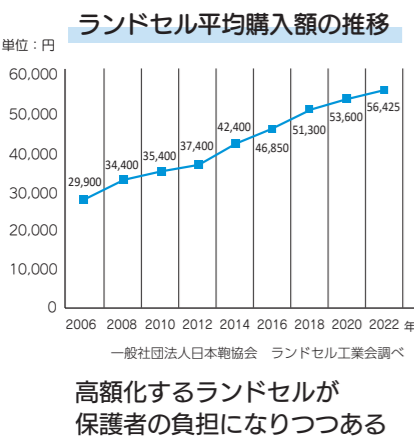
答 金額だけでなく、保護者の考えを取り入れながら制服を決めてきた経緯がある。行政が制服を指定する立場にはないと考えている。

問 昨年行った質問の中で、学用品にかかる費用を削減していくという答弁があったが、その後の削減実績や、今後の取り組み状況は。

答 学習で使用する問題集を、使用頻度などを考慮して削減したり、必ずしも必要ではなくなった資料集などの教材も削減している。

■その他の質問

・自主財源確保のためのネーミングライツ、公共施設などへの広告掲載について



廃校舎利用施設の改修整備再考を



加藤 勝義 議員

かとう かつよし



問 廃校舎という施設規模の大きな建物を利用して活動している地区交流センターがある。施設の老朽化も進み、未使用スペースの維持管理や用途変更による多額の改修費用もかかっており、経済的、合理的でない。規模縮小した新たな改修計画が必要と思う。

答 地区交流センター等として使用されている施設の多くが、FM計画で「長寿」に位置付けられている。改修の際は、長寿命化を講ずる内容や時期、施設の規模や機能、優先順位、さらには施設の再配置を含めて検討する。

問 規定を作らなければならなかったのではないか。

答 実施要項第13条の「市長は、特別の事情があると認めるときは、別に定める基準によって活用できる」とした条項を根拠とした。

問 多くの他自治体に、異業種共同企業体の運用規定がある。当市には規定がないまま市長の裁量だけで進んでいるものか。

答 他自治体での前例があるから、法的にも認められていると考える。

立身 万千子議員

たつみ まちこ



市民の健康増進へ

市はどう取り組むか



問 県は、救急医療を含む入院治療ができる二次医療圏を、8つから3つに見直す方針を示した。市ではこれをどう受け止めているか。

答 病院の役割分担と連携を強化し、効率的な体制を整え、医療提供体制を長期的に維持するには必要と考えている。生命の危険が切迫するような場合にも素早く治療できる体制の確保などが課題だ。

問 令和元年に厚生労働省で示した公立病院の再編、統合すべき病院の対象から、市立大森病院の除外を求める陳情が住民から出され採択された。その後も国では再編統合を進めているが、市の方針は。

答 公立病院が新型コロナウィルスへの対応で中核的な役割を果たしたことで、国では持続可能な地域医療体制確保に向け取り組んでいくことを重視する方向に変わっている。今後もしかなる差別もな

く医療を受けられる権利と、健康に生きる権利を大事にしていく。

●健康よこて21計画について

問 これまでの事業の検証結果は。

答 社会情勢などを踏まえ、目標項目の追加や見直しを行っている。住まい、医療、介護、予防、生活を一体的に支援する体制作りと、包括ケアシステムを推進していく。

問 健康の駅事業の実績と課題は。

答 令和4年度は小さいエリアで実施する健康の駅の利用者が伸びた。今後もさまざまな機会を活用し、運動による継続的な健康サポートを行っていく。



二次医療圏を3つにしても安心安全な医療の提供はできるのか

井上 忠征議員

いのうえ ちゅうせい



就職支援と

結婚支援で若者の定住を



問 若者世代への就職支援は。

答 労働力不足が顕著になりつつあるなか、若者が地元で就職し、定着することは非常に重要だ。市では、市内企業を就職先として若者に選んでもらえるよう、ハローワーク横手や県なども連携し、さまざまな事業を行っている。今後も引き続き学校関係者や、ハローワークなどと若者の地元定着促進への取り組みを協議していく。

問 結婚相談支援をどう進めるか。

答 非婚化・晩婚化への対策や若者の交流の活性化を目的に、若者出会い・結婚生活応援事業を実施している。行政では踏み込みにくいデリケートな部分があるが、少子化問題解決の最も根本的な課題と捉え、今後も継続的に取り組む。

●大雨災害対応について

問 7月の大雨災害に関する避難情報伝達状況の検証は行ったか。

答 複数のツールを利用して避難情報を伝達した。避難情報発令対象地域で聞き取りしたところ、今回初めて運用したエリアメールが最も有効だったとの回答を得た。

問 水害被災者支援制度の周知は。

答 地域防災計画に記載し、ホームページで公開している。平成29年7月に冊子を作成して以来改定していないので、この度の大雨で被災した県内自治体の対応を参考に支援制度をまとめた。



高校2年生を対象に行われた横手のスゴイ企業発見!! ガイダンス

●道路整備等について

福田 誠議員

ふくだ まこと



高齢者の

健康づくり事業について



問 令和5年度予算で「はり・きゅう・マッサージ施術費助成事業」が半減された。理由として利用率が3%しかなかったことがあげられているが、その数字の根拠は何か。

答 交付対象となっている65歳以上の3万3743人への交付可能枚数に対し、実際に利用された枚数の割合である。

問 交付枚数に対する交付率や利用率を根拠にするべきでは。

答 当事業を利用していない方も数多くいる。限られた福祉の財源を、高齢者が地域で安心して生活するために必要な事業に重点を置き活用するべく判断した。

問 スマホアプリを利用した介護予防普及啓発事業について、進捗状況と今後の取り組みはどうか。

答 まだ十分に利用されていないため、今後は利用者を幅広く募るほか、周知を行い健康づくりと介



高齢者の健康のために効果的なはり・きゅう・マッサージ

護予防の意識の啓発に努める。

●教育行政について

問 令和5年度全国学力・学習状況調査結果についての所見を伺う。

答 今回の調査について、秋田県の英語の平均正答率が全国平均を下回ったことは、大変残念に思っている。今後は小中学校での外国語教育の充実に努めるとともに、1人1台端末を活用し、自ら学びを進められる環境づくりに努める。

■その他の質問
* NFTを活用して市の財政への貢献を

雪まつり開催時などの

宿泊施設不足解消を

大日向 香輝議員

おおひなた こうき



問 大きなイベントを開催する際、宿泊施設の客室数が圧倒的に少なく、せっかく当市を訪れても近隣市町村に宿泊するケースが増えていることが推察される。市にとつて大きな損失となりかねないが、その克服策についてどう考えるか。

答 雪まつり開催期間などは周辺市町村の宿泊施設の協力、連携が不可欠となる。個々の宿泊施設では、年間を通しての客室稼働率や従業員数などを鑑みて営業形態を判断しているため、行政側から働きかけをすることは難しい。

問 宿泊施設不足の解決策として、民泊許可申請の推進やキャンピングカーでの宿泊場所の設置など、新たな民泊手段を考えられないか。

答 現状や需要を見極めながら総合的に検討する。

問 外国語での案内が充実することで、外国人観光客の満足度を向



大阪城でのかまくらPRイベント 雪まつり期間中の宿泊施設不足が課題

上させ、国際的な魅力を高める可能性がある。多言語案内看板や情報提供についての取り組みは。

答 地域通訳案内士の育成を昨年度から実施しており、多言語での観光ガイドができる体制づくりに努める。また、特に外国人の来訪者が多い雪まつりでは英語・中国語・タイ語のパンフレットを制作している。しかし、屋外の多言語案内看板などについては不十分であり、改めて整備に向けた検討を進める。

■その他の質問
ふるさと納税の実績と取り組み

もっと分かりやすく、もっと身近な議会に

議会だよりモニター会議



7月27日に議会だよりモニターの皆さんと広報委員が集まり、議会だよりモニター会議を開催しました。

モニターの皆さんからは、読者の目線で読みたくなる紙面にするためのいろいろなご提案をいただきました。



どうい議論をして決められたかがわかる特集記事はとても良かったです！



QRコードに頼りすぎた記事になっちゃうと読みたいう気持ちにはならないかも…

そうなのか！便利な機能を追求していただけじゃダメなんだね。

議会だよりモニター会議の様子は9月11日の「もっと教えて！横手市議会」で放送しました。放送内容は横手市議会ホームページからお聴きいただけます。



非常時でも議論を止めない！

オンラインでの委員会出席が可能に

横手市議会委員会条例の一部を改正する条例



登庁して委員会に出席することを原則としながらも、感染症のまん延や、災害発生時、育児・介護などやむを得ない理由により登庁が困難となった時でもオンラインでの出席が可能となったことで、非常時でも委員会を開催できるようになります。

これにより、非常時でも復旧支援策をいち早く検討することや、参考人などからオンラインで意見を聴くことなども可能です。



国の肥料価格支援事業に市で嵩上げを

鈴木 勝雄 議員



問 物価や生産資材の価格高騰に農家は苦しんでおり、国では肥料価格高騰への支援を行うこととした。国の支援で足りない部分は農家の負担となるが、市で国の支援に嵩上げする考えはないか。化学肥料への支援は再生産を促すための効果的な支援と考えるがどうか。
答 価格が高騰している化学肥料の使用量低減に向け、地域資源を肥料成分とした地域内循環農業への一層の転換が必要と考えており、国の支援事業に乗せしての助成は考えていない。今後も肥料などの価格動向の把握に努めるとともに農業者が引き続き意欲的に営農に取り組めるよう、県やJAなど関係機関と連携し対応する。
問 少雨や高温障害によりスイカ以外の園芸作物とキノコ類の生産量が減少しているが、対策は。
答 JA各生産部会と連携して、



地域の有機資源を堆肥として再利用している横手市大雄堆肥センター

高温化での管理・作業などについて生産者に情報提供し、農業経営に対する影響の把握にも努める。
● 公共温泉施設について
問 公共温泉施設の方向性決定は時期尚早だ。現在営業中の施設の運営をサポートしながら、休館中の施設の方向性を決めるべきでは。
答 休館している施設も他の営業している施設と一体的に取り扱いについて協議した。まずは公共温泉施設全体の方向性を決定し、市が関与を継続するとして施設の改修工事などを行い再開を目指す。

増田地区交流センター運営協議会のみなさん

9月7日に増田地区交流センター運営協議会の皆さんが、市議会の取り組みを今後の活動の参考とするため、一般質問の傍聴にいらっしました。

議場へようこそ

教育や少子化の問題について掘り下げた議論を聞いてみたいです



安心して暮らせる住みよい地域になるような活動を期待しています

七尾 豊太郎 さん
(増田地区交流センター運営協議会 会長)

阿部 聡 さん
(増田地区交流センター運営協議会 委員)

増田地区交流センター運営協議会の皆さんが市議会を傍聴した様子は、10月23日放送の「もっと教えて！横手市議会」で放送しました。放送内容は横手市議会ホームページからお聴きいただけます。



産業建設常任委員会

6月27日~29日

“モノづくり”ではなく
“コトづくり”ができる道の駅に

石川県羽咋市

ポイント

■ 商社機能を併せ持つ販売拠点

地元産品の施設内レストランでの提供や、商品開発など、農水産業、商業、サービス業が一体となった6次産業化を実践している。また、地元産品を一手に集め、他地域や都市部に売りこむ地域商社機能の役割も担っている。

視察を終えて

▶モノを買ったり食事をするだけの場所ではなく、そこで過ごす時間を充実させ、「コト（体験や経験）づくり」として提供しようとする取り組みは見習うべきと感じた。
▶当市は他地域に類を見ないほど多種多様な農産物に恵まれている。より6次産業化を意識した、当市ならではのオンリーワンのコトづくりを進めていく必要性を感じた。



もみ殻の新たな活用法は？

富山県射水市

ポイント

■ 産学官民連携で
“もみ殻”有効活用プロジェクト

射水市では2010年にJA、企業、大学、行政の連携による「もみ殻循環プロジェクトチーム」を発足。もみ殻を安全に処理しつつ土壌改良肥料として活用するリサイクル技術を確立し、実用化を進めている。

視察を終えて

▶稲作の副産物として当市でおおよそ年17,000トンも排出されるもみ殻の有効活用策として興味深い事例。
▶散布する際の使いやすさの面で課題が残るため、ペレット（固形）化への改良が必要と感じた。
▶地域が抱える課題の解決にもつながるため、当市でも行政がJAや地元企業と連携し事業化できないか、検討を進めてほしい。



ICTプロジェクトチーム 7月5日~6日

包括連携協定を生かして
ICT活用推進を

ZVC JAPAN株式会社

ポイント

■ 広がり続けるZoomの可能性

オンライン会議システム「Zoom」では、会議内容の要約やチャット機能などさまざまな機能も開発、更新されている。なお、Zoomの日本法人ZVC JAPAN株式会社と当市は令和4年12月に包括連携協定を締結している。

視察を終えて

▶電話機能を使用した災害時の連絡は議会でも導入したいと思う内容だった。試験的に活用してみるなどして、導入の可能性を前向きに検討していきたい。
▶連携協定を積極的に生かし、今後も定期的に打ち合わせや勉強会を行い、オンライン会議等への知識を深めることで、議会のICT活用を促進していきたい。



厚生常任委員会

7月10日~12日

給食費無償化は
もはや全国的なトレンド

群馬県渋川市

ポイント

■ 給食費無償化を実現した方法は

平成29年に全国に先駆けて給食費無償化を行った渋川市では、小中学生の学校給食費を市の一般財源で全額負担している。無償化は、当時の市長の公約で実施したとのこと。当市の課題でもある子育て支援策として視察し調査した。

視察を終えて

▶保護者からは「経済的に助かる」との声があがっているほか、給食費の徴収に係る職員の事務軽減が図られるといった副次的な効果もあるとのこと。
▶恒久的な財源確保などの課題はあるが、当市においても子育て支援の経済的な負担軽減策として重要な施策と考えるため、9月定例会の委員会質問で当局に導入を提案することとした。



全国に先駆けた
ヤングケアラーSOS事業

群馬県高崎市

ポイント

■ ケースバイケースで問題解決

いろいろな問題が絡み合うヤングケアラーを解決するには、枠の決められたサービス提供では困難だ。高崎市では利用者のニーズに合わせケースバイケースで対応している。また、ヤングケアラー以外にも3つのSOS事業を行っている。

視察を終えて

▶本人や家族はもちろん、民生児童委員など周りにいる大人も声をあげやすくするための雰囲気作りは当市でも参考にすべき。
▶子育て支援でも、子育てSOS事業、託児サービス、ファミリー・サポート・センターの3つの事業が相互に補完してサービスを充実させており、当市でも参考になると思った。



行政視察ってなに？

当市が抱えるさまざまな問題について課題解決のヒントを得るため、同様の問題を解決したり、成果が出ている他自治体や企業などの視察を行っています。
視察では、現場見学や意見交換を行うなどして先進事例を学び、一般質問や議員提案などにより、当市の課題解決に生かします。

厚生常任委員会では、今回行った行政視察を踏まえ、子育て支援の視点から見た学校給食費無償化について委員会質問を行いました。【P10参照】



「Y8サミット創快横手市議会」

11月13日開催決定！

Y8サミット創快横手市議会（以下、Y8サミット）では、市内の全7中学校の代表が中学生議員となり、「横手市中学校創快宣言」を実現し、よりよい学校生活を創るため、さまざまな提案を行います。



昨年度のY8サミットの様子

Y8サミットに向け議員と“作戦会議”を実施！

8月7日にY8サミットメンバーと市議会議員が一堂に会し、各校が提案を予定している政策の内容をさらに充実したものにすため、市議会議員がアドバイスしたり、各校との情報交換をする“作戦会議”を行いました。

僕たち、こんな政策の提案を考えているんです！



この部分を調べてみたらもっといい提案になるんじゃないかな？



Y8サミットは11月13日に本会議場で行われます。中学生議員からどのような提案がされ、市ではその提案をどのように生かしていくのか楽しみですね。

※Y8サミットの様子は市議会ホームページでライブ中継や録画映像を配信する予定です。

議会の主な動き

7月

- 4日 愛知県大府市議会、福島県相馬市議会行政視察受け入れ
- 5日 ICTプロジェクトチーム行政視察（～6日、全国地方議会サミット2023、ZVC JAPAN株式会社）
- 10日 厚生常任委員会行政視察（～12日、群馬県渋川市・高崎市、埼玉県上尾市）
- 13日 正副委員長会議、議会運営委員会、全員協議会（議案説明会）、総務文教常任委員会協議会、議会改革推進会議
- 18日 市議会7月臨時会【P3】、全員協議会（行政課題説明会）
- 20日 秋田県市議会議長会定例会（秋田市）
- 24日 北上市・西和賀町・横手市議会議員研修交流会
- 27日 湯沢市議会行政視察受け入れ、議会だよりモニター会議【P17】
- 28日 全員協議会（行政課題説明会）、厚生常任委員会協議会、ICTプロジェクトチーム会議



7/24 北上市・西和賀町・横手市議会議員研修交流会

8月

- 4日 議会改革推進会議
- 5日 友好都市厚木市議会表敬訪問（～6日）
- 7日 Y8サミットメンバーと議員の勉強会
- 9日 秋田県後期高齢者医療広域連合議会8月臨時会（秋田市）
- 17日 産業建設常任委員会協議会
- 21日 正副委員長会議、議会運営委員会、全員協議会（議案説明会、行政課題説明会）
- 22日 広報分科会
- 25日 友好都市那珂市議会表敬訪問（～26日）
- 28日 市議会9月定例会（～9月21日）【P2～16】

9月

- 1日 広報分科会
- 5日 議会運営委員会
- 6日 広報広聴委員会
- 7日 全員協議会（行政課題説明会）
- 12日 産業建設常任委員会協議会
- 19日 正副委員長会議、議会運営委員会、広報分科会
- 20日 産業建設常任委員会協議会、広聴分科会
- 21日 全員協議会、議会運営委員会、大森浄化センター整備事業に関する調査特別委員会【P2～3】
- 27日 大森浄化センター整備事業に関する調査特別委員会

他自治体との議員研修も活発になってきたね



青春 キャンパス色

十文字中学校
美術部

十文字中学校美術部は、1～3年生27名で活動しています。美術部の活動の成果を示す学校祭が終わった今は、2年生が主体となって新体制での活動が始まっています。

今年の美術部の合い言葉は「賞状をもらえる作品づくり」で、さまざまなコンクールにエントリーしてきました。また、地域との連携として「学用品おさがりの会」のイベント看板を部員で協力して作りました。

これらの制作を通して感じることは「まだまだ描く力が足りない。」ということです。描きたい物の色と形を正確に表現すること、陰影や

奥行きを意識して描くという基本的なことを日々の練習で積み上げていきたいと思います。そうして個人個人の描く力を高めると共に、仲間と協力して大きな作品を仕上げられる団結力も高めていきたいと思います。後輩たちのこれからの意欲的な活動に期待しています。

十文字中学校美術部部长 丹 胡斗美



十文字中学校美術部活動の様子



横手かまくらFMで市議会を知ろう!!

横手市議会では、市議会の活動や取り組みを議員自らの声で紹介するFM番組「もっと教えて！横手市議会」を放送しています。また、各定例会開催時には、市長の所信説明や議員の一般質問の様子を放送しています。定例会最終日や臨時会当日の夕方には、審議結果もお知らせしています。

横手かまくらFM 77.4MHz
もっと教えて！横手市議会

毎月第2・4月曜日 午前10時40分～
再放送：翌火曜日 午前7時30分～

好評
放送中

主な放送内容（予定）

11/13放送

中学生が聞きたい“市議会の6つのハテナ”

横手かまくらFMに職場体験に来た横手北中学校2年の3人の生徒さんが、“市議会の6つのハテナ”を議員に突撃インタビュー！

中学生から繰り出される直球の質問、変化球の質問に議員もたじたじ？

インタビューされた議員からは、どんな回答が飛び出すのでしょうか。お楽しみに！

議員になって以来最大のハプニング話を教えて！

議員が考える“若い世代に必要なこと、ってなんですか？

どんなときにやりがいを感じますか？

などなど



インタビューした横手北中学校の生徒さんたち

これまでの放送内容はこちらからお聴きください。



分かりにくい議会用語などはこちらで解説しています



分かりにくい議会用語が他にもございましたら、議会事務局までお知らせ願います。

横手市議会公式 Facebook ページ



タイムリーに情報発信中ページへのお待ちしています。

編集後記

全国ニュースに取り上げられるほどの酷暑を乗り切り、横手も錦秋の季節を迎えています。爽やかな秋から冬への準備が始まりつつありますが、この冬はつらい雪の想い出ばかりではなく、雪の美しさや楽しさも心に残るシーズンとしたいものです。 (井上 忠征)

◆広報広聴委員会広報分科会

分科会長 大日向香輝 副分科会長 林 一輝
委員 井上 忠征 加藤 雄太
青山 豊 福田 誠